

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能事業所オレンジキッズ熱田		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 18日		2025年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2025年 3月 3日		2025年 3月 15日
○従業者評価有効回答数			
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの活動をするスペースが確保できている。	児童発達支援の子どもたちが使う指導訓練室や多目的室を利用できるようにしている。 また、テーブル・イスで活動できるスペースだけでなく、マットを敷いたスペースも設けている。	子どもたち個々の課題に応じた活動も楽しくできるように取り組んでいく。 柱や壁など角になる箇所が少なくないので、子どもたちが当たってしまいがちなように安全管理をより行っていく。
2	保護者さんとの連携や意思の疎通、情報伝達が深くできている。	送迎の受け渡しの際に保護者さんに子どものできたことや頑張ったことを伝えている。また、パソコンの連絡ツールでも毎回の活動内容を保護者さんに伝え、返信ももらいながらやりとりをしている。	今後もこちらから保護者さんに話したり、たずねたりすることを通して、保護者さんとの連携を深めていく。
3	子どもが活動するプログラムに偏りがなく、毎日様々な形で取り組みを行っている。	体を動かす活動、手先や指先を使う活動、ソーシャルスキルトレーニングなどの友達とかかわる活動、校外学習、料理、工作など様々な取り組みをバランスよく行っている。	今後も、個々の子どもたちのニーズに応じて、様々な活動に取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもたちと交流をする機会があまりできていない。	3月に、同じオレンジキッズのデイサービス(野並)の子どもたちとの交流会を設けた。	今後も野並や引山のオレンジキッズの子どもたちと遊んだり、交流したりする機会を多く作っていく。
2	家族支援プログラム(ペアレントトレーニング)やご家族の方も参加できる研修会や情報提供の機会があまり設けられていない。		可能な限り、ご家族の方が参加できる会を設けたり、情報提供の機会を設けたりすることを検討する。
3	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	送迎の際を中心に、安全管理が不十分だったり、保護者さんへの不安をもたせたりするような事案があった。職員間でケースごとにどのように対応すればよいかを確認できていないことがあった。	送迎マニュアルや安全管理、感染症対策などのマニュアルを策定、改定する。マニュアルをもとに事業所内で研修会を開催し、職員の資質の向上を図っていく。